



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日
上場取引所 札

上場会社名 日本グランド株式会社
コード番号 2976 URL <https://www.nippon-grande.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	755	181.7	△22	—	△30	—	△21	—
2023年3月期第1四半期	268	△68.1	△56	—	△59	—	△40	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △20百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △15.77	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	△31.45	—

(注) 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、また、2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 7,061	百万円 1,933	% 27.4
2023年3月期	8,465	1,971	23.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,933百万円 2023年3月期 1,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,224	14.5	145	△27.6	107	△40.3	74	△52.5	55.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,343,600株	2023年3月期	1,343,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,343,600株	2023年3月期1Q	1,300,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外食や旅行など個人消費が回復をけん引し、経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向が続きました。一方で、世界的な金融引締め等による海外景気の減速、米中貿易摩擦、物価上昇や金融資本市場の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、用地代や建築コストの高騰等によりマンション販売価格の上昇が続き、一部に新規販売スケジュールの見直し等見られましたが、住宅ローンの低金利、各種住宅取得支援策の継続を背景に、需要は底堅く推移いたしました。一方で販売価格の高額化により販売の長期化により完成在庫の増加傾向が続いております。

このような環境の中、当社グループは、現在、販売価格の高額化により完成在庫となるリスクが高まっている状況において、お客様のニーズの把握を徹底して行い、商品企画においてもコスト削減を含めて、ニーズに合った物件造りに取り組んでまいりました。

当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第1四半期連結累計期間において、既存の分譲マンション14.0戸の引渡となり、総引渡戸数は14.0戸(前年同期比11.5戸増)となりました。なお、当連結会計年度における新築分譲マンションは、第3四半期連結会計期間に1物件、第4四半期連結会計期間に2物件の竣工・引渡を予定しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は755,886千円(前年同期比181.7%増)、営業損失は22,042千円(前年同期は56,579千円の営業損失)、経常損失は30,866千円(前年同期は59,162千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は21,184千円(前年同期は40,893千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

当第1四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、前期繰越在庫14.0戸(前年同期比11.5戸増)の引渡を行っております。また、第3四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ環状通東グランディオ」、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ札幌西グランシェール」及び「グランファーレ真駒内グランフォレスト」につきましては、販売を継続しております。

分譲戸建住宅事業におきましては、前期繰越在庫及び当第1四半期連結会計期間に竣工した「ラ・レジーナ福住」の引渡はありませんでした(前年同期比変動なし)。なお、「ラ・レジーナ福住」につきましては、販売を継続しております。

当第1四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は14.0戸(前年同期比11.5戸増)、売上高は565,500千円(前年同期比483.1%増)となりました。

その他の売上高は14,120千円(前年同期比44.3%増)となりました。

この結果、不動産分譲事業の売上高は579,620千円(前年同期比442.9%増)となり、セグメント損失は14,691千円(前年同期は50,642千円のセグメント損失)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は79,097千円(前年同期比5.4%増)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は16,279千円(前年同期比5.8%減)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は38,689千円(前年同期比6.8%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は134,066千円(前年同期比4.3%増)となり、セグメント利益は43,579千円(前年同期比3.0%減)となりました。セグメント利益率につきましては32.5%(前年同期比2.5ポイント減)となりました。

(不動産関連事業)

マンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は30,092千円(前年同期比7.4%増)となりました。

その他の売上高は、12,107千円(前年同期比140.0%増)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は42,199千円(前年同期比27.7%増)となり、セグメント利益は7,461千円(前年同期比17.2%増)となりました。セグメント利益率につきましては17.7%(前年同期比1.6ポイント減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,404,151千円減少し、7,061,786千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,386,594千円減少し、3,907,808千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて17,557千円減少し、3,153,977千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加357,749千円及び未収消費税等の増加15,051千円であり、主な減少の要因は、現金及び預金の減少1,345,516千円、売掛金及び契約資産の減少6,404千円、販売用不動産の減少394,539千円、その他の棚卸資産の減少8,167千円であります。固定資産の主な減少の要因は、有形固定資産の減少21,875千円であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,366,020千円減少し、5,128,602千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,310,375千円減少し、2,665,598千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて55,644千円減少し、2,463,004千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、短期借入金の増加179,100千円、1年内返済予定の長期借入金の増加7,476千円、契約負債の増加13,005千円、未払金の増加9,735千円、未払消費税等の増加33,981千円であります。主な減少の要因は、買掛金及び工事未払金の減少1,454,331千円及び未払法人税等の減少61,425千円、預り金の減少35,357千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少49,087千円及び繰延税金負債の減少8,551千円であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて38,131千円減少し、1,933,183千円となりました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したほか、配当金の支払いにより利益剰余金が38,651千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、「2023年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」(2023年5月12日)で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,562,417	1,216,901
売掛金及び契約資産	17,489	11,084
販売用不動産	631,956	237,417
仕掛販売用不動産	1,895,449	2,253,198
その他の棚卸資産	14,566	6,398
その他	172,523	182,808
流動資産合計	5,294,403	3,907,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322,373	2,300,721
土地	775,139	775,939
その他（純額）	19,679	18,655
有形固定資産合計	3,117,191	3,095,316
無形固定資産	3,042	7,688
投資その他の資産	51,299	50,972
固定資産合計	3,171,534	3,153,977
資産合計	8,465,938	7,061,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,962,048	507,716
短期借入金	1,481,000	1,660,100
1年内返済予定の長期借入金	198,992	206,468
未払法人税等	62,143	717
賞与引当金	4,346	3,598
株主優待引当金	2,444	152
預り金	66,738	31,381
その他	198,260	255,465
流動負債合計	3,975,974	2,665,598
固定負債		
長期借入金	2,421,015	2,371,928
その他	97,633	91,076
固定負債合計	2,518,648	2,463,004
負債合計	6,494,622	5,128,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,726	182,726
資本剰余金	82,726	82,726
利益剰余金	1,705,991	1,667,340
株主資本合計	1,971,443	1,932,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△128	391
その他の包括利益累計額合計	△128	391
純資産合計	1,971,315	1,933,183
負債純資産合計	8,465,938	7,061,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	268,375	755,886
売上原価	183,781	631,424
売上総利益	84,593	124,462
販売費及び一般管理費	141,173	146,504
営業損失(△)	△56,579	△22,042
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	14
受取手数料	222	341
金利スワップ評価益	555	—
違約金収入	4,314	206
補助金収入	559	611
保険解約返戻金	—	149
その他	690	354
営業外収益合計	6,348	1,678
営業外費用		
支払利息	8,927	10,278
金利スワップ評価損	—	169
その他	4	54
営業外費用合計	8,932	10,502
経常損失(△)	△59,162	△30,866
特別利益		
固定資産売却益	397	—
特別利益合計	397	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△58,765	△30,866
法人税等	△17,871	△9,681
四半期純損失(△)	△40,893	△21,184
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,893	△21,184

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△40,893	△21,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	519
その他の包括利益合計	△10	519
四半期包括利益	△40,904	△20,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,904	△20,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	106,762	128,558	33,054	268,375	—	268,375
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	3,600	3,600	△3,600	—
計	106,762	128,558	36,655	271,976	△3,600	268,375
セグメント利益又は損失 (△)	△50,642	44,932	6,366	656	△57,235	△56,579

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,235千円には、セグメント間取引消去△3,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△53,634千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	579,620	134,066	42,199	755,886	—	755,886
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	2,942	2,942	△2,942	—
計	579,620	134,066	45,142	758,829	△2,942	755,886
セグメント利益又は損失 (△)	△14,691	43,579	7,461	36,349	△58,391	△22,042

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△58,391千円には、セグメント間取引消去△2,942千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,448千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。